

計 画 の 方 針

熊野町の歴史・文化・景観を生かし、緑を守り、ふやし、水と緑をつなぎ、魅力あるまちづくりを行うため、次の視点から緑の将来像を実現していきます。

基本理念

自然・文化 ふれあいみどり

各地区で育まれた文化的資産と豊かな自然とが有機的に結びついた都市づくりのために、様々な“緑”との触れ合いの場の創出を通じて、自然や人にやさしい空間づくりを目指します。

4つの視点

1. 緑の骨格づくり(原風景の保全・創出)

2. 緑の軸づくり(歴史・水・生活)

3. 緑の拠点・地域の緑づくり

4. まちの緑を考察

計 画 の 目 標

緑地の確保目標水準

確保すべき緑地の目標量は、都市計画区域(行政区域)のおよそ66%とします。

- 山・丘陵の樹林地、史跡、島状緑地、中央部を貫流する河川等の緑、都市公園や公共公益施設の緑などの町域内における緑は、現在、2,188haを占めており、熊野の個性と魅力となっています。
- これらの熊野らしさを醸し出す豊かな緑を守り・育てていくものとし、将来的には2,208ha(町域の66%)とします。

都市公園等の施設として整備すべき緑地の確保目標水準

本計画における都市公園等の目標水準は、概ね20㎡/人以上とします。

区 分	年 次	現 況 (平成12年)	将 来 (平成27年)
	都市計画区域人口1人当たり目標水準 (㎡/人)	都 市 公 園	4.1
公 共 施 設 緑 地		6.4	8.2
都 市 公 園 等		10.5	20.3

公共施設緑地：町民グラウンド、開発行為による公園・緑地及び呉地ダムキャンプ場など